

ふじみなヒト×コト

あったかい、懐かしい母の味 みんなの食堂「ごはんや」

まるでお母さんのつくる食卓を囲んでいるような谷保駅前の「ごはんや」さん。煮魚や炒めものがメインの定食・オムライスなどの日替わりメニューは、平日はおよそ600～800円、土曜日は大人500円、子ども100円です。

「ここは、子どもが一人で食べに来てもいいし、大人だけでも、親子でもいい。どんな方でも気軽に立ち寄れる食堂です。」

代表の寺井由美子さんは日曜～水曜の担当。「TEAM FAVO」という団体に、学習支援も行っています。寺井さんが学習支援の活動に参加しはじめたのは、およそ10年前。子どもの「孤食」が注目されるようになり、「勉強を教えるだけでなく、やっぱりごはんも



必要だ」と思い立ったそう。「毎日通う常連さんもいるので、同じおかずにならないように工夫していますが、金曜だけは人気のオムライスなんですよ」というのは、木曜～土曜を担当する飯田千代さん。

給食のない夏休みには募金箱を設置して、子どもが平日300円でお昼を食べに来られるようにしていたことも。「いずれは日替わりで厨房に立つ人が変わる、なんていうのも楽しいかな」という寺井さん。多世代でちゃぶ台を囲むような、あったかい食堂「ごはんや」に、ふらりと立ち寄ってみませんか？

1. ある日の赤魚の煮つけ定食。事前に店で予約すればテイクアウトもできる。2. 代表の寺井さん。3. 定番オムライス。この日はお客さんの希望で特別ビーフシチュー付き800円。

ごはんや
国立市富士見台 1-17-8
*谷保駅北口を出て、モスバーガーの角を右に曲がってすぐ
11:30～13:30 (なくなり次第閉店)
18:00～20:00 ラストオーダー、20:30 閉店。
無休。(日曜日は休む場合もあり)



会員 イベント情報

ー 地域カアアップセミナーー プロボノで お困りごとを解決する！

市民活動を進めるなかで、お困りごとはありませんか。仲間を増やしたい、会計や広報の壁、資金調達など…。そうした課題を抱える団体と、専門知識やスキルをもつビジネスパーソンをつないで、解決に貢献するのがプロボノという考え方。このプロボノをテーマに昨年12月4日、国立市社会福祉協議会が「地域カアアップセミナー」を開催しました。



各団体と地域のボランティア「プロボノワーカー」が協働したら、地域はきっともっと楽しくなる！ 社協がはじめたこの試み、第2回は、市民が「プロボノワーカー」として活動するためのセミナー。仕事で培った知識や経験を、地域で活かすにはどうしたらいいのか。ご参加をお待ちしています。(参加無料)

日時 2020年2月8日(土)
13:00～15:00
場所 くにたち福祉会館3階中会議室
問合せ 国立市社会福祉協議会
☎042-580-0294

あなたの「まち活」 応援します！



くにたち プラムジャム通信

Kunitachi
PLUM JAM-NEWS

- ▶ P1 Cover story クレーシュすみれ
- ▶ P2-3 会員紹介
- ▶ P2 くにたち地域コラボ研修事業
- ▶ P3 「ごぜん塾」講座、開催中！
- ▶ P4 ふじみなヒト×コト「ごはんや」
- ▶ P4 会員イベント情報

発行 ▶ くにたち地域コラボ

Cover story

子どもたちの 想像と創造を育む クレーシュすみれ



「0から7歳で意思と体が育ち、7から14歳で感情が育ち、14歳から思考が育つ」とは、ドイツの教育者ルドルフ・シュタイナーの教え。

幼稚園教諭として働いていた頃、研修旅行で訪れたドイツでシュタイナー教育と出会い、共感した井上美知子さんは、それから幼児教育の現場にシュタイナーの人間学を取り入れるようになり、2011年4月に、国立市内の一軒家を拠点に「クレーシュすみれ」を立ち上げる。

「大切なのは、リズムのある生活」と井上さん。大人の行動や、心の機微を汲み取り、それを模倣しながら学ぶ幼児期の子どもたちは、食事や遊び、お片づけなどの1日の流れのリズムが決まっていることで、安心感を得られるそう。また、「クレーシュすみれ」のお部屋には、大きな音

の出る楽器や機械音、絵本がなく、子どもたちの内側から湧きおこる想像力を育てている。

子どもたちは毛糸を固めてケーキを作り、杏の種でコーヒーを淹れる真似をして、あるもので工夫して遊ぶ。火を起こす時は赤い布、水をかけて消す時は水色の布を使うなど、頭の中にあるものを自由に表現する。

想像力と、創造力。クレーシュすみれで育まれたその力は、やがて大人になったとき、ものごとをゼロから生み出し、工夫して生きていく力に繋がっていくはずだ。*2019年「認可外保育所」に認定

(上記写真)
1. 遊具はトチの実、杏の種、リスがかじった松ぼっくり、貝殻など自然のもの。2. 子どもたちは切り株はパン、毛糸玉はアイスクリームなどに見立てるそうだ。3. 年長さんは機織り、年中さんは刺繍、蜜蝋キャンドルなどにも挑戦。4. シュタイナーの三原色で描かれた水彩画。



Information
[場所] 国立市富士見台 1-3-16
満3～6歳:
月～金(9:00～14:00)
満2歳～:
金(9:00～13:00)
1歳半～親子クラス:
第1・3水(10:00～11:00)

お問合せ
[電話] 042-573-8680
(月～金14:15～15:15)
[Web] creche-sumire.jimdo.com
📍 クレーシュすみれ

WEBで情報発信中！

会員からのお知らせも随時発信できます。ぜひ、情報をお寄せください。

<https://www.kunitachicollab.com/>

活動メンバー募集中！

地域を拠点にあなたのやりたいこと、できることって？居場所づくりから、さまざまな市民活動のご紹介などご相談、お問い合わせをお待ちしています。

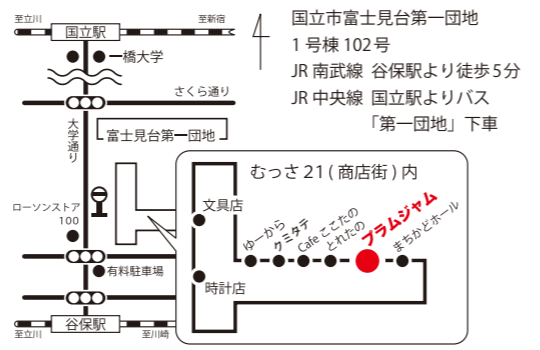


2019年度の新規会員
(2019年8月～12月入会)
年会費：正会員2,500円 / 利用会員500円

利用会員
・チーム第三幕
・まなのわ
・国立五日制の会
・NPO法人 子ども大学くにたち
※この他に、3名が個人でメンバーになりました！



プラムジャムは、国立市の中間支援組織「くにたち地域コラボ」が運営および拠点とするコミュニティスペースです。会員登録すれば、打ち合せや会議、教室、仕事場としての利用が可能です。どうぞお気軽にお越しください。



会員紹介 ≫ Pick Up! 地域のさまざまな子育て支援。子どもたちや保護者に寄りそう会員の活動をご紹介します。

0~3歳

手作りおもちゃと子育ての本がいっぱい

子育てサロン ぱーくんち

「ぱーくんちいこう!」と小さい子も発音しやすい、ゾウの「ぱーくん」が目印の子育てサロン。ながのてるこさんの手作りおもちゃがたくさんあり、背中に乗れるゾウの置物だけでなく、立派なドールハウスやキッチンセットも手作り。

「子育てアドバイザーとして働くために千葉市へ8年間通っていましたが、やっぱり地元で何かがしたくて」母として一男一女を育て、幼稚園教諭、子育て

アドバイザー、50歳前後で保育士資格の取得と、勉強を重ねてきたながのさん。本棚には子育ての良書が並び、お母さんが借りていくことも多いそう。飲食や授乳も自由なので、お母さんグループの貸切で誕生日会などに使われることも。「誰にも聞けないけれど気になることがあるときは、私にこっそり聞いて、少しでも安心して子育てを楽しんでもらえたら嬉しいです。ぱーくんちに行こうと思うことが少しでも心の支えになれば」

Information

[開室時間] 月金11:00~14:30/木12:00~15:30
[場所] 国立市東4丁目※住所はお問合せください
[入室料] 500円(初回2回無料、お得な回数券あり)
※授乳タイムもあるため、大人の入室は女性のみ。

お問合せ

[メール] info.pakunchi@gmail.com
[Web] https://pakunchi2015.wixsite.com/pakunchi
ぱーくんち

0~2歳

おとなも子どもも居心地がいい

かたかたこと こと風のへや

「0~2歳はあっという間。でもギュッと濃密な時期でもあるんです」

乳児保育に31年携わり、はじめての子育てに不安を持つ人や、かけがえのない時期を過ごす子どものために何かできることはないかと思ひ立ち、自宅の一室で親子の居場所「かたかたことこと風のへや」を開いた武田陽子さん。

「乳児との接し方は、プロの保育士でも難しいもの。ここには0~2歳の子ども向けのおもちゃを中心に用意しています。親子一緒にゆっくりのんびり楽しんで過ご

してほしいです」

多くのことを吸収する時期だからこそ、心地のいい空間や質の高いおもちゃに触れることも大切だと武田さんは考えます。そのため、おもちゃは大手量販店ではなく、国内外の質のいいものを扱う『木のおもちゃチャッタ』から、自分が「好き」だと思ったものを少しずつ集めているそう。

また、声がかかればおもちゃの出張遊びも行っていきます。

Information

[開室時間] 毎週金曜日10:30~12:00
[場所] 国立市青柳2-26-24
[入室料] 1世帯300円
(コーヒー、麦茶、ほうじ茶付き)

お問合せ

[電話] 090-6541-5678
[メール] yamanekotori4550@jcom.zaq.ne.jp
[Web] https://r.goope.jp/katakoto-kaze

思いや悩みをゆるやかに分かちあう

食物アレルギーサークル「にこにこ」

上のお子さんが重い食物アレルギーを持ち、2人目のお子さんも食物アレルギーを持っていたことから、会社復帰を諦めた経験を持つ大坂和美さん。2015年5月、国立駅北側のカフェ「MOROGORO」の三田栄美さんと一緒に食物アレルギーサークル「にこにこ」を立ち上げ、悩める親子の居場所づくりを始めました。大坂さんは現在、ライフプランに合わせた人生相談を行う「ライフコーチ」として活動しています。「昔は「子どもの食物アレルギーで人生が変わってしまった」という気持ちでいっぱい

でしたが、今ではアレルギーを子どもの一つの特性だと、ごく当たり前のものとして受け止め、自分らしい生き方や働き方を見直すきっかけをもらえたと思っています」

まずは親が思いや悩みを分かちあい、子どもたちにもアレルギーを自分ごととして捉えるきっかけを得てもらえるように。三田さんのレシピでアレルギーのないケーキを作ったり、お話をしたり、ゆるやかなサークル活動からはじめてみませんか?

Information

2ヶ月に1回の「おしゃべり会」開催。内容や日時はフェイスブックページからご覧ください。
[Web] https://nicomama.github.io/KazumiOsaka/index.html
国立市 食物アレルギーサークル「にこにこ」
お問合せ
[メール] niconicoallergy@yahoo.co.jp

写真: ケーキ&大坂和美さん



くにたち地域コラボ2019年度研修事業 共催 国立市

外国／日本ルーツの人々とともにつくる地域

ここ数年、国立市では年100人近く、外国ルーツの市民が増えています。学校や商店街、雇用や医療などの現場でも、彼女／彼らがいつのまにかともに暮らす存在になっていることに、気がついている人も多いのでは? ともに地域をつくる担い手として、これからどのような未来を描いていくのか、そのためにはどんなことが大切か、できることを一緒に考えてみましょう。

- 第1部 13:30~14:00 講演: 是川夕氏(国立社会保障・人口問題研究所) さまざまなデータ、調査結果から日本の現在と未来を読み解く。
 - 第2部 14:00~14:15 学習支援や雇用現場から知る実例
 - 第3部 14:20~15:30 「ともに働く、暮らす」カードワーク
 - 15:45~17:00 懇親会(自由参加 参加費@500円)
- 定員40名 お申し込みはお早めに事務局まで

2020年
2月2日(日)
13:30~15:30

会場
KFまちかど
ホール

参加無料



左: 是川夕氏。右: 「人口問題と移民-日本の人口・階層構造はどう変わるのか」(是川夕氏編著)

2020年も「ごぜん塾」開催中!

おでかけが億劫になる冬の季節。『ごぜん塾』で楽しく学んで、暖か気分で乗り越えよう!

月 楽しく絵手紙
毎月第4水曜 1回700円 10:30~12:00
講師: 図師チヨ
(日本絵手紙協会 公認講師)



水 PC、スマホ、タブレットお困りごと相談
毎月第2・4水曜 *無料
講師: 隈井裕之 (国立せいさく所)



火 もう一度、習字にチャレンジ!
1/14・28、2/4・18 いずれも火曜
月2,800円 10:00~11:30
講師: 山根浩子(i-ze)



木 スペイン語講座
1/9・16 木曜
1回1,000円 10:00~11:00
*2月以降も木曜を予定 要確認
講師: 村内カリナ(スペイン語講師)



*上記日程は変更になる場合があります。その他、「ソロバン脳トレ」「キホンのデッサン」も随時。事前にお問い合わせください。

10:00~12:00
場所: プラムジャム